

# グリーンLPガス推進官民検討会 GasOneグループのカーボンオフセット LPガスの取組みについて



株式会社サイサン  
2023年7月10日

## | 会社概要

商号	株式会社サイサン
本社所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-5
設立	1954年9月20日(創立:1945年10月)
資本金	9,540万円
代表者	川本 武彦
上場	非上場
事業内容	各種ガス、関連機器販売 電気事業、水販売事業 等
直近売上高	単体 978億7,023万円 (2022年8月現在) 連結 1752億7,023万円
従業員数	1,540名(2022年11月現在)
登録	ガス小売事業登録番号:A0023

## TOP MESSAGE

川本 武彦  
代表取締役社長

創業100周年に向けて  
積極的に海外へ進出



## | 主要取引先

- ・ ジャパンガスエナジー
- ・ EMGマーケティング
- ・ JXTGエネルギー
- ・ 大陽日酸
- ・ 矢崎エナジーシステム
- ・ リンナイ
- ・ 三菱マテリアル
- ・ プリマ食品
- ・ 東日本旅客鉄道
- ・ 凸版印刷
- ・ エフテック
- ・ 茨城通運
- ・ 東京文化総業
- ・ 塚本産業 他多数



# Gas One グループ 35都道府県に展開中！

1. 発明の名称 合成ガスからの液化石油ガス及び／ガソリンの製造方法  
(H<sub>2</sub>とCOからメタノール合成触媒とゼオライト混合触媒を用いてLPガスを合成)
2. 開発会社 日本ガス合成 株式会社  
代表 矢野俊比古 氏 (故人、元通商産業省事務次官)
3. 発明者 藤元 薫 先生 (HiBD研究所長、北九州市立大名誉教授)  
黎 暁紅 先生
4. 特許日 2010年7月30日 (出願 2007年2月9日)
5. 2015年に日本ガス合成(株)の清算に伴い、サイサンが特許権を買取る

## 2021年9月16日川本社長発信

“2045年 Gas One グループ

カーボンニュートラルの達成“を宣言！

・68期(2021年)スローガン

『Gas Oneグループ

カーボンニュートラルへの挑戦！』

・69期(2022年)スローガン

『カーボンニュートラルへ前進！』



Gas One

# 自社の排出量削減に向けたビジョン 2030年、2050年に向けて

## 2045年Gas Oneグループカーボンニュートラル宣言！

～Gas Oneグループ 2045年ビジョン～

我が国を含め、アジア・太平洋地域において  
総合エネルギー・生活関連事業でリーディング企業になる  
～環境への迅速な対応と先進技術に挑戦して  
最も身近なホーム・エネルギーパートナーを目指す

2025年に向けて

- カーボンオフセットLPガス／CNでんきの拡大
- 自社排出の再生可能エネルギー化
- グリーンLPガスおよびメタネーション（合成メタン）の技術開発後の運用方法の導入検討
- 海外事業での薪、石炭からのLPガス化推進
- 蓄電池・太陽光の推進
- スコープ1～3の見える化

2030年に向けて

- グリーンLPガスおよびメタネーション（合成メタン）の技術開発後の運用方法の導入検討
- 合成メタンの家庭用燃料の導入検討
- 合成メタン一般家庭への販売検討
- 積極的なカーボンニュートラルの取り組みとしての植林や保全活動 CSR活動
- エネルギーの地産・地消・地吸による地域単位でのカーボンニュートラルの促進

2045～2050年  
に向けて  
「実質ゼロ」

- 再生可能エネルギーによるグリーン水素・酸素の創生と利用技術の研究
- 多様化するエネルギーに対するお客さま毎の最適化エネルギーの開発提案
- 水素・アンモニアの導入検討

SDGsの推進！



ガスワングループは、地球規模の課題解決に向けて、

お客さまと共に、持続可能な社会の実現を行います

2045年度（創業100周年）

カーボンニュートラル達成

2020年

2030年

2050年

CO2削減量とカーボンニュートラル



- ・ カーボンオフセットLPガス／CNでんきの販売
- ・ 高効率機器の普及 (エネファーム、エコワン他)
- ・ 蓄電池・太陽光発電の普及促進
- ・ LPWA (スマートメーター) の推進 (配送・検針の合理化)
- ・ PPA事業の推進 (屋根貸しによる太陽光発電普及)
- ・ メガソーラー、風力発電事業への参画
- ・ 海外拠点 (モンゴル・ベトナムなど8か国) でのLPガスの普及 (薪や石炭→LPガス)
- ・ DX推進 (Web請求書・ペーパーレス化など)

## 【クレジット制度を活用したカーボンオフセットLPガス】

「Jクレジット」 : 日本で認証されている制度  
「ボランタリークレジット」 : 海外で認証されている制度

## 【GasOneグループが取り扱うボランタリークレジットの意義】

GasOneグループが展開するアジア諸国での活動に由来するものをメインとして、植林による自然保護や再生可能エネルギー由来のクレジットを提供致します。

これは、弊社が展開する地域でのLPG普及に関して、燃料用に伐採される森林の保護、将来を担う子供たちの労働からの解放、大気汚染による健康被害の抑止等の観点からも、弊社の理念、SDGsの目標に合致するとの見解からによるものです。

## 【現在弊社が取り扱っているボランタリークレジット】

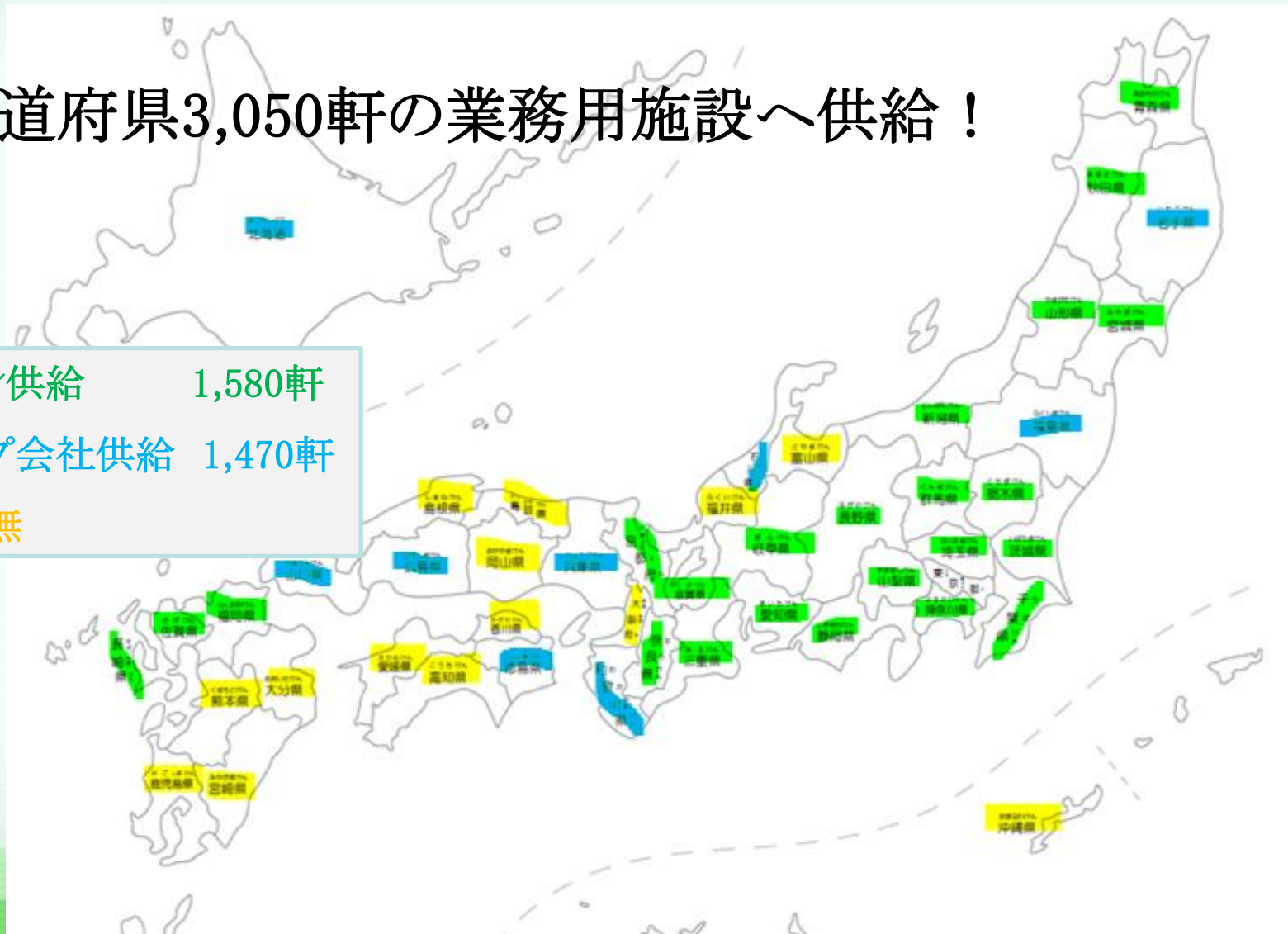
■産地 : インド  
■種類 : 再生可能エネルギー由来  
■購入元 : ジャパンガスエナジー (JGE) 様  
■導入時期 : 2021年11月より  
■導入量 : 1万トン相当 (LPG換算)

全国33都道府県3,050軒の業務用施設へ供給！

緑⇒サイサン供給 1,580軒

青⇒グループ会社供給 1,470軒

黄色⇒拠点無





# カーボンオフセットLPガス供給証明書

## ■カーボンオフセットLPガス供給証明書

➡供給開始時に発行を致します。



No.G0TY000SA000



**カーボンオフセット LPガス供給証明書**  
**株式会社 ○○○○様**

株式会社サイサンは、株式会社 ○○○○様へのカーボンオフセット LP ガスの供給を証明いたします。

カーボンオフセットLPガスへの採用は、地球全体での温室効果ガス削減に加え、低炭素社会への実現に貢献します。

料金プラン名 \_\_\_\_\_

契約日 \_\_\_\_\_

お客様名 \_\_\_\_\_

お客様住所 \_\_\_\_\_

クレジット種別 \_\_\_\_\_

オフセット対象案件 \_\_\_\_\_

株式会社サイサン  
 代表取締役 社長 川本 武彦

**Gas One**

# グループ会社等への導入

サポートシステム

対策

小売事業の課題

**QUALITY** (品質)  
**PRICE** (価格)  
**SERVICE** (サービス)



**Gas One ショップ & Gas One 会**



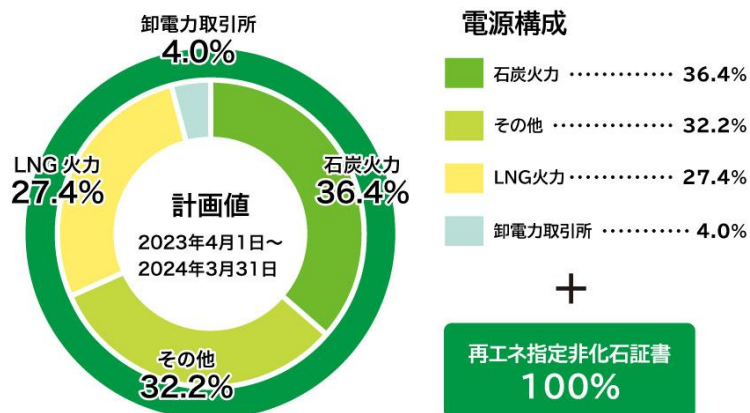
グループ会社の小売電気事業者 **Ene One エネワンでんき** が  
販売する【実質再生可能エネルギー100%】の電力メニュー

特徴:CO<sub>2</sub>を排出しない環境価値が付加されている  
「CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を排出しない」という環境価値を、非化石証書と  
いう仕組みを利用して供給する電気に付加した【実質再エネプラン】  
をお届けしています



あなたのまいにちで、環境貢献。  
カーボンニュートラルでんき

実質再エネプランのCO<sub>2</sub>排出係数は0.000kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(調整後排出係数)



電源構成の電力に、再エネ指定の非化石証書  
を使用することにより実質的に再生可能エネルギー  
電気100%の調達を実現

# CO<sub>2</sub>排出削減量

実質再エネプランが実現する  
「CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ」により削減できるCO<sub>2</sub>排出量のイメージ



一般的な  
ご家庭なら

CO<sub>2</sub>排出削減量(年間)

約**1.6t**

杉の木約**115本**が  
一年間に吸収する量



法人様なら  
※年間100,000kWh  
ご利用想定例

CO<sub>2</sub>排出削減量(年間)

約**44.5t**

杉の木約**3,179本**が  
一年間に吸収する量



※ご家庭の使用量を300kWh/月(当社想定)、CO<sub>2</sub>排出係数を0.445kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R1年度全国平均)、杉の木1本あたりの年間CO<sub>2</sub>吸収量を14kg-CO<sub>2</sub>/年(林野庁資料より)として算出しています。